

事業名

心をつなぐ地域と学校のパートナーシップ

目 標

子ども達をとりまくさまざまな環境について、保護者、教職員、地域住民が協力、連携しながら整備、向上、充実していく取組を行う。

1. 取組の視点

富雄中学校区で行われている環境整備活動は年々周知され、ボランティアさんをはじめ園児・児童・生徒、保護者、教職員が多数参加し、環境を整えるばかりではなく、つながりを深める活動となってきました。特に中学生は自分たちも地域の一員であり、支援してもらう立場から自分たちにできることを考え、少しでも地域の為に何かできればという気持ちが強くなってきました。地域からの要請で夏休みのラジオ体操や盆踊りに参加、クリーンキャンペーンで出身小学校から校区内を清掃する取組にも積極的に参加しています。地域のボランティアさんが頻繁に園・学校に来てくださることにより、子どもたちの心が安定し地域をより愛するところを育んでいます。

2. 取組の概要

今年度3回設定したクリーンアップウィークについて、各幼・小・中ごとにコーディネーターが中心となり、多数の人が参加する体制が整ってきました。前年度よりさらに校区全体の取組として位置づけられ、活動が発展してきました。



4月には中学校でボランティアクラブが発足し、コーディネーターが顧問となり生徒と一緒に活動しました。『花咲きロード』や『富中クリーンキャンペーン』では生徒会とともに部員が企画・運営にかかわり、来校されるボランティアさんへの対応も積極的に行いました。

昨年度、取り組んだ学区ブランド製品の広報活動も継続して行い、地域のイベントにも参加しました。鳥見小学校放課後子ども教室のお手伝いで『ならまち探検』の引率もしました。



地域住民・教職員で防災についても勉強したいと考え、石巻市立雄勝中学校元校長の佐藤先生をお招きし、学園前ホールで講演会を開催しました。東日本大震災時の状況を伺い、災害時、地域と学校がどのように協働するべきかを学びました。また、阪神大震災で被災した神戸市長田区にコーディネーターが視察に行き、地域の防災活動についても学びました。

3. 成果と課題

ボランティアクラブの発足により、生徒が地域に様々な発信をするようになり、地域の方々とのつながりが以前より深まりました。

幼稚園・小学校担当のコーディネーターもボランティアクラブのサポート、地域イベントに参加し、横のつながりもしっかり出来ています。

活動に参加してくださるボランティアさんは安定していますが、活動によってボランティアさんの募集が必要なので、募集方法、またボランティア名簿の取り扱いについて校区全体で検討したいと思います。コーディネーターの活動についても、今後考えられる発展的活動にあわせ、時間的、人数的負担について次年度、検討していきたいと思っています。

事業名

イキイキ・スクスク伸びる環境(内面・外面)作り

目 標

- ①地域教育協議会の活動(学習支援、環境整備)の発展。
- ②地域住民の一員としての地域貢献活動の充実。
- ③生徒会・委員会・クラブと地域協議会との話し合いの場の設定。
- ④ボランティアクラブの設立。⑤地域防災の拠点となる学校。

1. 取組の視点

富雄中学校では、地域教育協議会の活動(学習支援、部活動支援、環境整備等)が計画的に展開され充実した活動となってきました。

特に、地域コーディネーターの献身的な取組により生徒、保護者、地域住民、教職員の理解と協力が得られてきました。今年度もより地域と深く繋がり、協働の精神で取り組める活動へと発展させることと、生徒が将来の地域を支える住民の一員となり、地域に貢献できるようになることを目標に取り組みました。

2. 取組の概要

○学習支援活動(SAS): 学習支援ボランティアによる数学と英語の基礎学力向上講座、テスト前対策講座は、定着し充実した取組が行われました。今年度はそれに加え3年生への進路対策講座も開設し、大変好評ですばらしい成果と実績を挙げることができました。

○盆踊りゲストティーチャー: 7月2日、5日、体育授業のダンス領域で三碓地区の踊りの先生をゲストティーチャーとして招き、盆踊りを教えていただきました。



1・2年生全クラスに三碓音頭、江州音頭、河内音頭、炭坑節を熱心に指導していただきました。地域コーディネーター、三碓クレイン(老人)クラブ、教職員合わせて20名ほどの協力もあり楽しく取り組むことが出来ました。練習をした生徒たちは各地域での夏祭りに参加し盆踊りをしました。地域の良き伝統を中学生が繋いでいくことが出来

たことで、地域の皆様に喜んでいただきました。

○ボランティアクラブ: 地域に貢献し、地域を愛する心を育てたいとの思いからボランティアクラブを設立しまし

た。ボランティアクラブの顧問を地域コーディネーターに担当していただき、管理職や主幹教諭が副顧問をし、現在週2回の定例活動で自主的に環境



整備活動に取り組んでいます。また、「花咲ロード」「クリーンキャンペーン」では中心となって企画・運営を行い、地域協議会と生徒会とのパイプ役を務めています。また、「富より団子」の販売活動や、放課後子ども教室の奈良町探検の引率、夏祭りのバンド演奏、エコ石鹸作りなど新しい取組が行われています。

3. 成果と課題

地域コーディネーターの活動が生徒、保護者、地域、教職員の理解と協力により、一体となった取組となっています。ボランティアクラブの活動も学校内でのボランティアから地域への貢献活動へと発展し、全校生徒への意識づけになっています。また、地域防災の拠点となる学校に向けての取組も、生徒会とコーディネーターとの協働で進められています。来年度は、地域を巻き込んでの防災訓練の実施にむけて計画中です。

事業名 富雄大好きプロジェクト3

目 標 富雄を誇りに思い、富雄で学んでよかったと思える人づくり

1. 取組の視点

本校は、『思いやりのある子』『なかまとともに育つ子』『確かな学力・正しい判断力をもつ子』『たくましい子』『富雄を誇れる子』の育成を目指しています。そのためには、学校の教育活動の充実とともに信頼される開かれた学校づくりを進めなければなりません。その方策の一つが「学校・家庭・地域連携の推進」です。

本校では250名にもものぼる地域ボランティアの皆様に登下校の安全確保をはじめ、様々な場面でご支援をいただいています。ご支援いただいた方々からは、「子どもたちから元気をもらえる。」「孫とは違ったかかわりができるので新鮮だ。」「学校での子どもたちの様子がよくわかる。」といった感想を寄せていただいています。子どもたちにとっても普段とは異なる緊張感の中で貴重な学習の場となると考え、取組を進めています。

2. 取組の概要

◎. 富雄を誇りに思い、富雄で学んでよかったと思える人づくり

5月21日～5月24日 安全マップづくり



- 6月 6日 田植え体験 10月稲刈り体験
- 6月 5日 家庭科運針指導支援
- 6月23日 花咲ロード花植え活動
- 7月13日 福祉カヌー体験
- 7月27日 親子料理教室
- 7月29日～8月4日 ラジオ体操と盆踊りの練習

8月11日 盆踊り 富雄燈花会



8月20日 校内美化活動

ペンキ塗り トイレ掃除

9月20日 福祉（点字）体験

12月10日 福祉（アイマスク・車いす・老人化模擬体験）体験

12月 1日 花咲ロード花植え活動

12月 3日・4日 図書読み聞かせ会

12月19日 収穫祭

1月11日 昔遊び体験学習支援

2月～ 地域ボランティアの方々へのお礼の品づくり

2月25日 地域ボランティアの方々への感謝の気持ちを表す会

3. 成果と課題

今年度の学校評価保護者アンケートの項目の1つ「学校は、家庭、地域と連携して、地域の人材を活用した教育活動（安全教育・福祉体験・家庭科実習等）を進めています。学校・家庭・地域の連携がなされていると思いますか。」では、95.4%（昨年度91%）の方々から「そう思う」「ややそう思う」との肯定的な回答をいただきました。この支援・連携の深まりが子どもたちの学びの向上と充実につながると確信します。また、この取組を発展的に継続する方策を検討しなければなりません。

事業名

地域からはばたく鳥見っ子 —レッツイングリッシュ鳥見っ子— —地域を愛する鳥見っ子—

目 標

- ・多様な立場の人々と関わりを深め、世界に目を向ける国際人を育成する
- ・鳥見地域の良さを地元の方から学び、鳥見地域に対する誇りと自信を育む

1. 取組の視点

新指導要領の実施に伴い英語活動が5・6年で週1時間行なわれ2年目となります。本校は、県教育委員会の「早期英語教育」の研究モデル校の指定や、文科省の「小学校における英語活動等国際理解活動推進事業」を受けて、英語活動に取り組んできました。そこで引き続き、世界に目を向ける国際人の育成を目標に、小学校6年間を通し英語を使ってコミュニケーションを図ることができる児童の育成をめざしました。

一方、「奈良に住んでよかった」とふるさとを誇れる子どもを育成するには、まず、自分の住んでいる鳥見の地域を愛せる子どもを、地域全体で育てていかなければならないと考えて本事業に取り組みました。

2. 取組の概要

英語活動を楽しめるようにと、低学年は基礎となる言葉をゲームや歌・ジェスチャー等の身体表現を伴う活動を通して、オーラルコミュニケーションを中心に学習しました。高学年に対しては、外国の文化や風習・生活に関する知識を、講師の先生の留学した国での具体的な生活の写真やエピソードを通して伝えることができました。

一方、1年生は、社会福祉協議会の皆さんの呼びかけで、地域の高齢者のみなさんからコマ回しや羽子板、花いちもんめやけん玉・お手玉、折り紙などの昔遊びを教えていただきました。その後、給食を一緒に食べながら、和やかに交流できました。2年生と6年生には、地元の獣医師の方々が、犬やウサギの飼育と生命について教えていただき



ました。聴診器を使って自分と動物の心臓の鼓動

の違いを聞き比べました。生命を慈しむことの大切さから、友達や動物に優しく接することを学びました。



2年生は、お隣の国である韓国・朝鮮の衣装や楽器・ことばについて講師の先生から詳しく教えてもらいました。実際にチマチョゴリを着たり、じゃんけんをやったり、楽器を鳴らしたりして、文化の違いや大切さについて学びました。



4年生は、体育館で、リハビリテーションセンターから借りた車椅子を、実際に操作しました。



体験することで車椅子を身近に感じ、車椅子を使われている方との生活について考えました。

3. 成果と課題

地域の中には、素晴らしい技術を持った方や専門家がたくさん住んでおられることが分かり、子どもたちは鳥見地域に住んでいることに愛着と誇りを持ったようです。今後は、協力いただいた方を起点にして人材バンク的な組織を構築していくことが、本事業を継続していくポイントとなると考えます。児童が、小学校6年間を通してスムーズに外国語を学習できる体制が組めたことは良かったです。

昨年度から新指導要領の完全実施に伴い英語活動が5・6年で週1時間行なわれていますが、低学年の英語活動の位置づけと、6年間を通した体系的なカリキュラムの作成が今後の課題です。

事業名 地域と共に育ち合う幼稚園

目標 ・ E S D（持続発展教育）を進め、食育・環境教育・世界遺産・国際理解等に関心を持ち、学びを継承する幼児を育てる。

1. 取組の視点

子どもたちは、身近な「ひと・もの・こと」と触れ合う中で健やかな心と体の発達を促します。本園で取り組んでいる食育・環境教育・世界遺産教育・国際理解等を通して、「ひと・もの・こと」に出会い様々な経験をする中で、ものごとに主体的に関わることができる子どもの育成をめざしています。そのためには、それぞれの分野で活躍されている地域の方々に、園児や保護者、未就園児も共に教えていただき、保護者も共に歩めるよい機会となっています。地域の教育力を踏まえこのつながりを大切にしながら、生き生きと活動し、心豊かな幼児を育てていきたいと考え取り組みました。

2. 取組の概要

・食育の取組として、四季折々の野菜を栽培しました。個人栽培や親子栽培をとおして、自分の植えたものが生長していく過程を日々見ることで、栽培物に興味や関心が高まり食べることへの意欲につながりました。

・地域の方のご協力を得て、「菜の花プロジェクト」の事業に取り組み菜種油を採取しました。子どもたちは、地域の方に菜の花の刈り取り・乾燥の仕方や雑穀を、教えていただき、初めて経験することも多く、意欲的に取り組むことが出来ました。栽培・収穫・雑穀を経験したことだけでなく、様々なところで活用出来ることを知り、環境について興味や関心がさらに高まりました。栽培した小麦でホットケーキやドーナツを作り、誕生会でいただきました。また、油を搾った時に出来た油粕は、花壇や畑の肥料に活用したり、廃油を使って石鹼を作ったりしました。

作った石鹼は、家庭に持ち帰ったり普段お世話になっている地域の方に使っていただいたりしました。保護者からは、「上靴の汚れがととてもよく落ちる」と、好評でした。園でも自分たちの作った石鹼を大切に使っています。

・年3回の「絵本の読み聞かせ」では、子どもたちは、回を重ねるごとに楽しみに待つ様子が見られ、絵本を読んでもくださるボランティアの方にも親しみをもって関わる姿が見られました。



・茶道教室、剣道教室も子どもたちは、毎回とても楽しみにしています。1月の茶道教室では、子どもたちが、保護者の方に、「お菓子を先に取りよ」「お点前頂戴しますと言って」等と、堂々と話す姿が見られました。また、地域の方から、「正倉院展」の話を聞かせていただいたり、大仏殿の瓦粘土を使って、世界遺産や伝統文化に触れ感動したり不思議に思ったり心に残る経験になりました。



3. 成果と課題

子どもたちは、様々なことに興味や関心をもって取り組み、いきいきと生活する姿が見られ成長を感じています。これからも、地域の方の教育力をいただき、感動体験を積み重ねられるように協力体制をお願いしたいと思います。

事業名

小学校教育への滑らかな接続

目 標

- ・ 小学校教育につながる・ふれあう・学び合う
- ・ 遊びの環境づくり

1. 取組の視点

鳥見小学校内併設2年目を迎えました。子どもたちの小学校以降の生活や学習を見据えて、①年少年長を連続したスパンで捉える教育②総合的かつ多様な体験活動の創造③小学校や地域の方との交流の3点が大事であると考えました。そのことから、子どもたちに多様な体験活動ができる取組を通して、コミュニケーション力や集中力、思考力、規範意識を育みます。また、地域の方や保護者とふれ合いながら、魅力ある環境づくりや栽培活動をすることにより、健康で活力のある幼児の育成に努めます。

2. 取組の概要

コミュニケーション力、集中力、想像力の育成として外国人講師による英語活動・ボランティア



による読み聞かせ活動を年間3回ずつ実施しました。英語活動は英語での挨拶、歌やゲーム、パネルシアター、エプロン

シアターを通して講師先生とのふれ合いを楽しみながら外国の文化や英語に親しみました。絵本読み聞かせは、絵本だけでなく手遊び、パネルシアター、ペープサート、人形劇などがあり、子ども達は毎回とても楽しくお話を聞いたりボランティア“ぼけっと”の方々に親しみをもったりすることができました。



また、地域の栽培指導員の方の協力により、園内の畑で栽培活動を行い、保護者の協力を得て、栽培物を食する経験をしたり、地域の栄養士さんによる食育講座、紙面講座を実施したりしました。

今年度新たに、地域の方や保護者に協力を求め、園庭に芝生広場づくりをしました。NPO法人グリーンスポーツ奈良の吉田さんの指導により、6月に芝生苗植えをし、夏休み中も園児、保護者とともに世話を続けました。2学期の始業式の日、園児、保護者、地域の方々と芝生広場オープニングセレモニーを実施しました。その後、園児は裸足で芝生の感触を楽しみ、「わー、気持ちいい!」と、歓声をあげていました。そして、広場の名前を園児、保護者地域の方、小学生から募集し、“みどりのふわふわひろば”と、命名しました。サーキット遊び、鬼ごっこ、水遊び、お店ごっこ等遊びが広がり、天気の良い日には弁当広場となりました。また、小学生との交流の場としても大いに活用しました。



3. 成果と課題

幼児たちは、楽しみながら異文化に接したり、お話の世界に引き込まれていき、想像力や集中力を養うことができました。栽培、食育活動では、作物を育て、みんなで楽しく食べることができ、栽培指導員の方や食べ物への感謝の気持ちや大切にすることを養われました。また、地域の方々や保護者とともに芝生広場づくりをすることができました。地域の方々や保護者に対する感謝の気持ちを持ち、新しい環境のもと、子どもたちが友達と一緒に伸び伸びと遊びを創造し、小学生との交流も活発になりました。今後も引き続き環境整備に努め、子どもたちが笑顔あふれ、生き生きと活動できるようにしていきたいです。